

# メニューも時間も決めるのはお客様。 それが可能なのが「インディバ®」

## ラヴィッサント (五反田)

「インディバ®」導入の決め手は自身の“勘”だと話す川辺氏。その勘はピタリと当たり、増台までの時間は短かったそうです。施術について一応のメニューは設定しているものの、ほぼオーダーメイド。一人ひとりのご希望にしっかりと結果でお応えする姿勢が、遠方から通う人もいるほどの信頼を得ています。



代表 川辺雅子

Q：1日3組限定とか。

A：一人のお客様にじっくり時間をかける方針なので、実際には2組くらいの日が多いですよ。「フェイシャル60分」「ボディ60分」などコースメニューはありますが、「どの部位をどのくらい時間をかけてどうしたいか」は、お金を払っていただくお客様が決めることだと考えていますので、メニュー通りに施術を行うことは少ないです。それに、よく「『インディバ®』が気持ち良くて寝てしまう」というお客様の声がありますが、わたしものお客様で眠ってしまう人はほとんどいません。ボディのお悩みに限らずご自身のことなどを話されて、時間が過ぎていくことが多いですね。そのお話しの中で、わたしでもお応えできることが新たに見つかったり…。

Q：密度の濃いおつき合いになっていきますね。

A：そう思います。通っていただいて10年を数える方も多く、遠方ということでは名古屋からお見えになるお客様もいらっしゃいます。妊娠されて1年間お見えにならず、出産で体重が増えてしまい、また定期的に通われるようになった方も遠方でした。ただ、それだけ皆様からご支持をいただけるのは、やはり「インディバ®」の施術だからだと思います。

Q：濃いおつき合いだからこそ、お客様にこちらから言える部分もありそうですね。

A：ボディケア目的の方には自己管理を強く言います。特に食生活をきちんとしてもらわないと、いくらわたしたちが「インディバ®」をかけても大きな効果は望めません。最終的に効果が上がれば、たとえ強く言ったとしても感謝していただけますし、信頼関係もより強くなります。

Q：導入時はコンサルタントを付けたとか。

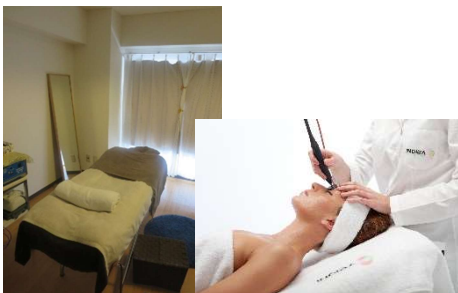
A：はい、エステの世界はよく分からないところもあったので、エステ出身の方をお願いしたのですが、その方が教えてくれたのが「インディバ®」だったので、実際にインディバ・ジャパンを訪ね体験してみて、身体が本当に温まり、同時に「これなら人のためになる」とピーンと来たのです。即決でした。自分の勘を信じて導入したようなものですが、反響は大きくお客様はすぐについてくれました。2台目の導入まではそんなに長い時間がかからなかった記憶があります。

Q：エステティックを長年続けてきて、感じられていることはございますか。

A：施術する人の美意識が強くないとダメだということですね。そうでないといくら話をしても説得力がありません。自身の勉強は常に必要だと思います。そしてこの業界は常に人材の問題がありますが、これについてはよくポリシーを押しつけるワンマン経営者のやり方では、人はついて来ないと思っています。スタッフの居心地を常に考える心配りがないと、サロンの雰囲気も悪くなりますし、それはお客様にも伝わります。雰囲気は経営面からもにじみ出ます。今は景気が良いとはいいいがたく、集客が大変なサロンもあるかもしれませんが、大変さを微塵も見せないことが大事だと思います。

Q：将来的にお考えになっていることは。

A：海外展開を少し。縁のある方がいらっしゃるタイのバンコクを考えています。日本の美容への関心が高いようですので面白いかなと。あとはカナダのバンクーバーですね。こちら東洋系の方が多く住んでいるので。



ラヴィッサント五反田

〒141-0031

住所 東京都品川区西五反田2-13-1

プレジデントハウス705

TEL 03-3493-7076

INDIBA®  
DEEP BEAUTY